



ここに愛があるのです。 ヨハネの手紙第一4章10節

クリスマスーキリストの愛の真実
ローリングヒルズカペナント教会
寺嶋伯文牧師



神はそのひとり子を世に遣わし、その方によって私たちに、いのちを得させてくださいました。ここに、神の愛が私たちに示されたのです。私たちが神を愛したのではなく、神が私たちが愛し、私たちの罪のために、なだめの供え物としての御子を遣わされました。ここに愛があるのです。愛する者たち。神がこれほどまでに私たちが愛してくださいましたのなら、私たちがもまた互いに愛し合うべきです。

(ヨハネの手紙第一 四章九―十一節)

毎年、クリスマスのシーズンになると、かつて私が初めてイエス・キリストの十字架の話を聞いた時のことを思い出します。それは、九〇年代のヴァージニア州にあるウィンチェスターという小さな町でのことでした。インターナショナルの学生が集うクリスマスチャン・フェローシップに顔を出した時に、近くにある教会のクリスマス・パ

ーティーに誘われました。アメリカのローカルの教会であり、日本人は私一人でした。そこで出会ったクリスマスチャンの方々喜びと平安に満ちた姿があまりにも印象的でした。この人たちが年を重ねてもなお、純真無垢な子供のように輝いた目をしているのはなぜだろう。この人たちが心から慕う主イエス・キリストとは、一体誰なのだろう。それが当時の私が抱いた一番の疑問でした。私もそのイエス・キリストを知り、この人たちのようになりたい。その思いに押されて、私は福音に興味を持ち、教会に通い始めたきっかけとなりました。

二千年以上も前にいた人が、私のことを知っていてくださり、私の罪を贖ってくださいました。十字架の上で命を捧げられたということが、果たして本当にありえるのだろうか。いくつもの疑いに迷い、戸惑いは続きました。

渇ききった私の心に、「私も真実の愛を、永遠の命を受け取りたい。」

という強い願いが湧きおこりました。私の救いのために、彼らが忍耐深く私のことを祈り続けてくださったことを知りました。そこに真の愛があり、私の罪は、キリストが命を捧げるほどに罪深いことを知らされました。また同時に、私のために命を捧げてくれるほどに、私は神に愛されていることを知りました。

今、私はロサンゼルスのでで教会し、主イエス・キリストにお仕えしております。クリスマスには、いろいろな伝道イベントが計画されていると思います。たくさんの方々との出会いがあると思います。あなたの周りにおられる、まだイエス・キリストの十字架を知らない方たちに、ぜひ声をかけてあげてください。教会に誘ってあげてください。かつての私がそうであったように、あなたの一言が誰かの人生を変え、誰かの魂の永遠の行き先を変えることになるかもしれないのです。私自身が、イエス・キリストの福音を心から信じてこたができたように、キリストの愛をいただいているあなたが語りかけてください。あなたの愛と忍耐と寛容を通して、「永遠のいのちを私も受け取りたい」と願う人たちが起こされていくことでしょう。

今年のクリスマス、主が、皆さんを豊かに用いてくださるようにお祈りしています。

Merry Christmas



「クリスマス随想」
マリアの賛歌

福野梢



わがたましいは主をあがめ、わが霊は、わが救い主なる神を喜びたたえます。ルカ一・四六、四七

一九四七年、私は仏教王国と言われる北陸加賀の小さな町で生まれました。日本海に沈む美しい太陽、冬の真つ白な雪景色、両手を広げるとつかめそうな満天の星空、白山山脈に囲まれたのどかで平凡な暮らしに幸せを感じていました。家の中には仏壇と神棚があり、その両方を拝み先祖に感謝するという生活でした。そんな私が五歳の頃大事件が起きました。親戚の家で大量の銀杏を食べ、食中毒になり、命の危険にさらされ臨死経験をしたのです。それがきっかけかは分かりませんが、中学生の頃から、真理を求め、「永遠を思う」ことが強くなりました。二人姉妹の長女である私は、「家を継ぐ」という両親や周囲の期待を背に、それなりに勉強やスポーツに励みしました。しかし大学四年生の時に、文学の勉強に行き詰まり、人間関係のもつれもあり、自分の心の弱さ、醜さにどうしようもない無力感を味わいました。「人は何のために生きていくのか?」「死んだら何処に行くのか?」「仏教では、先祖が家

族を守ってくれるというが、なぜ仏間は暗くて恐いイメージがあるのか?」などの疑問が一気に噴き出しました。しかし「真理を知りたい」という思いは、愚かでぜいたくな悩みと、周囲の者からみなされ、苦しみました。

卒業後のある日、小松の町中でデンマークからの婦人宣教師に声をかけられました。柔和なお人柄にひかれ礼拝に行き、神様の温かいご臨在と聖さにふれ、語られた



「人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出る一つ一つのこゝろによる」(マタイ四・四)のみ言葉が、砂に水が浸み込むように私の心に入って来ました。神様に背を向けている事がどんなに罪深いか分かり、悔い改めてイエス様を救い主として信じました。喜びと平安が泉のように心から溢れ人生が変えられたのです。二十四歳の時でした。長い間、探し求めていたのは、真理であるイエス様でした。私の疑問の答えが聖書にあると確信し、クリスマスに受洗。

誰彼となくイエス様の十字架の福音を伝え、友人や親族が救われしました。両親は、宗教に深入りした娘をとでも心配していました。

そんな時、献身への招きを促され、心の葛藤を覚えるばかりでした。私には両親の世話をしながら母教会で主に仕えたいというささやかな願いがありました。網を捨てて、私に従って来なさい」と全世界に出て行き」という内なる小さな声が消えませんでした。遂に

「献身し、あなたの召しに従うことが御心ならば、家族を一人救ってください」と叫び求めました。すると二カ月後に、母と叔母が天幕集会で救われたのです。八人兄弟の長男の嫁としての気苦労が多かった母の人生は変えられ、また明治天皇を崇拜し、頑なにキリストを拒んでいた祖母も、母の導きで聖夜に罪を悔い改めて救われました。祖母は翌年九十歳のクリスマスを迎えて、天に帰りました。

神学校卒業後に結婚、最初の子供を流産で天に送る悲しみを経験しました。その五年後に教会開拓が始まり、四年間のうちに三人の子供に恵まれました。教会の形成と子育てで大変でした。人々の出入り、夜遅くまでの集会、英会話クラスなど、行き詰まりやジレンマ、夫婦の緊張感で、家族が寝静まった夜中に、涙し祈りました。主からの慰めを頂き新しい力を受けましたが、教会が前進する中、

余りの忙しさに過労と更年期障害と自律神経失調が重なり、倒れて起き上がれなくなってしまうました。何ひとつ自分で出来ず、不安と自信喪失、自責の念に苛まれ、牧師夫人としても母親としても、あるべき自分と程遠い自分に失望しました。サタンは「人を救いに導いたが、自分は救えない」とあざ笑います。激しい霊の戦いが続きました。敬愛する牧師夫人が、しっかりと抱いて、「祈っているからね。覚えているみ言葉を心の中で繰り返すのよ!」と言って下さり、高慢な自我が取り扱われた時でもありました。「このままの私で愛されている」「何もできなくてもいい」御霊によって、「アバ、父」と呼ぶことができ、体は回復し始めました。年月はかかりましたが、今は癒され元気に主にお仕えしています。

今年、結婚して四十年です。主人と私の両親も救われ、天に帰りました。孫たちも増え、みんな同じ教会で牧師として主に仕えています。人となつてこの世に住まわれた「主の恵みとご真実」を感謝しています。試練の中でマリヤの賛歌を覚えながら、主を心から賛美しています。主イエス様のご降誕の喜びと、マリヤの賛歌の祝福が皆様の上にありますように!

RCI南大阪福音教会

【JEMS日本宣教】
 宣教ディレクターに就任して
 藤間ロイデン

私は仏教徒の家庭で育ちました。子供の頃、母が仏壇にお経を唱えるのをベッドに寝ながら聞いていたことを思い出します。

大学生の時、イエス・キリストの愛を言葉や生活を通して伝えてくれた友達がいり、教会に行き始めました。一九八〇年八月、ジム・サクライ牧師が我が家に来られ、なぜイエス・キリストが私の罪のために十字架上で死なれたのか、またイエスを信じ、人生を委ねるならば、罪は許され、永遠の命を受け取ることができるかと話してくれました。その夜、私はイエス・キリストに従う人生を歩むことを決心しました。

二ヶ月後にはキャンパス・クルセード・クリスマス・カンファレンスに参加し、サンタ・クララ（カリフォルニア州）の路上で不特定多数の人に初めて自分の信仰について語りました。福音を語る時、聖霊に満たされ、力がみなぎっていくことを体験しました。その日から、私は自分の人生は、イエス・キリストの愛をまだキリストを知らない人に伝えるために用いられたいという強い思いに導かれました。やがてそれは、日本人伝道へ

と道が開かれていきました。妻ナンシーと結婚して三〇年以上が経ち、三人の子供がいます。大学時代に回心してから、伝道と弟子訓練に関わってきましたが、四十五歳の二〇〇三年八月、宣教師として、家族と共に日本に遣わされました。沖縄で八年、仙台で二年、岩国で四年と計十四年を過ごし、四か月前にアメリカに戻って来ました。



ロイ師・ジョセフ君・ナンシー夫人

今年の九月、JEMS日本宣教ディレクターに就任しました。日本に向かう働き人たちに新たな意識をもって励ましていこうと思っています。このポジションは、二十年以上も空席になっていましたが、神様が与えてくださった今が、私にとって、最高のタイミングだったと信じています。現在、日本には、家族でまたは個人での長期宣教師が、二十組います。二組の家族が申請の過程にあり、一組の家族がサポートを募っています。二

十組の宣教師のうち、十五組が過去五年の間にJEMSに加わり、またそのうちの七組が、この一年半の間にJEMSの宣教に加わりました。

神様は、アメリカの教会でなされていけると同じように、日本でも素晴らしいことを人々や教会の中でして下さっています。私たちは、神様が日本で霊的覚醒を起こして下さり、更に収穫の地に働かせる人を送って下さることを祈っています。

アメリカに住んでいる日本人クリスチャンは、日本にイエス・キリストの福音を伝えるために重要な役割を担っています。第一に、キリストの愛を伝える宣教師を祈りをもって送り、彼らが日本人の心を変えるために働くのをサポートしていくことができます。短期、あるいは長期宣教師として日本に戻った人々を知っています。現在、八名のアメリカ在住だった日本人がJEMS宣教師として働いています。

他の方法としては、クリスチャンファミリーにホームステイを望む若者を日本から連れて来ることです。アメリカでホームステイをしたいと思っている人達はたくさんいると思います。アメリカ人のクリスチャンファミリーとパートナーとなり、アメリカに来る学生たちを共に世話することもできます。日本では、クリスチャンに



なることが難しい状況ですが、アメリカでは、多くのクリスチャンに出会うことにより、救われる日本人が多くいるのは事実です。アメリカに住む日本人が教会と協力して、宣教活動を広げていく機会が増えていくことを願っています。JEMS日本宣教ディレクターとして、私はJEMSが新しい宣教師たちを立ち上げ、日本に遣わし、彼らが人生の異なる局面（ステージ）において日本の教会や牧師たちと共に働き、新しい教会を造り上げていくことができるように協力を惜しまず、日本の宣教が前進するようにと祈るばかりです。現在、熊本、新潟、女川、石巻において、長期で働かれる人達を求めています。どうか、多くの実りを願う主のために、主の業がなされてゆきますようにお祈りください。（次号に続きます）

【JEMS巡回伝道】 杉田政志牧師ってどんな人？

三宅和美

十一月六日から十七日まで、JEMS協力宣教師でもある杉田政志牧師は北加のイーストベイからサンディエゴまで駆け巡り、十七回の伝道集会、家庭集会を持って下さいました。その一つの集会の報告です。

「杉田政志牧師ってどんな人？」と聞かれたら、私は、「使徒パウロの様な人です」と即答します。復活のイエス様に出会い、心機一転イエス様の御言葉を伝えるため、四方八方に飛び回ったパウロです。

杉田牧師との出会いは、今から約十年前の二〇〇八年八月、夫の仕事で移った北ケンタッキーに隣接するオハイオ州シンシナティ市での日本語礼拝に参加した時でした。アメリカの地方都市で日本人



杉田師(右か2人
目)左隣が和美姉

クリスチャンの集まりがある事に驚き、コンバース市から二時間ドライブして礼拝説教をしに来てくださる先生の熱意に更に驚かされました。先生はコンバース市にあるダブリン・バプテスト教会の牧

師ですが、シンシナティ地区では月一回の礼拝奉仕、隔週木曜日に朝、昼、夜の聖書クラスも担当されています。更に、ウクライナ、タヒチ、石巻の復興支援のための宣教もされています。

杉田先生は、御言葉を聞きたい人がいれば、喜んで馳せ参じてください。恐れないで語り続けなさい。黙ってはいけません。あなたがあなたと共にいるから。あなたに危害を加える者はいない(使徒十、八章九、十節) 杉田先生のお働きに、この御言葉が浮かんできます。大雪の中、葬儀司式に向かう途中でスリップしてご自身の車が大破し、顔にけがを負ったまま、平然とお役を務められました。翌日のバイブルスタディで先生のお顔をみて、一同驚愕しました。「主の愛、恵みと力」を真に体现されておられます。

先生のメッセージは、ご自分が本気で信じているからこそ聴衆の魂に響いていきます。杉田先生の最大の賜物は「場をつかむ力」です。今回の家庭集会においても、三人の若いママさん達がイエス様を受け入れたことを告白しました。ご自分の娘さん程のママさん達から「杉さま」と親しみ呼ばれておりました。そして颯爽とコンバースに帰って行かれました。使徒パウロの行動を先生のお働きを通して想像させて頂いております。

(ウインターズバーク長老教会)

JEMSウォーム・ビーチ JXJキャンプに参加して

笠井彩子



今年のキャンプは、八月十八日(二十日まで)、VINE(ヨハネ十五章)のテーマで、清水まお師、撰師の指導の下に行われました。神様にとどまるとは、共に生きることは、神様に愛されるとはどういうことなのか、改めて心を落ち



笠井彩子さん

着かせて考える良い時間となりました。日常生活や学業、人間関係など、私は自分の力で何とかしようとしてしまうことがあります。

一人で大きな不安をかかえ、落ち込みます。そのうちにだんだん疲れてしまい、エネルギー切れとなります。クリスチャンになっても、神様に全てを委ねるといながらも、実際の行動ではそれが現れていないことがあります。そんな私に神様はこのキャンプを通して、神様についていけないけれども、神様は色々な事を私にできるのです。セッションの中で講師の清水まお先生が、神様にとどまるとは、神様の家に滞在することだとおっしゃっていました。神様の家には、良いものが揃っていて、「私と一緒に楽しもう！」といつも招待してくれています。しかし、たくさんの誘惑があり、他のお家に遊びに行ってしまうのです。神様の家に滞在し、私を愛し、導き、私に本当に必要なものを与えてくださるお方をもっと知りたい、もっと頼りたい、すべてを委ねたいとキャンプを通して強く思ったのと同時に、神様との距離がグッと近づいたキャンプになりました。

また、キャンプでは、まだ神様を信じていない人たちに、それぞれ違った形で語りかける神様を見て、私は心に直接触れられていくのを感じました。神様の愛は本当に偉大だと改めて感じ、励まされました。素晴らしい機会を与えてくださった神様に感謝します。

これからも兄弟姉妹と共に互いに祈り、励ましあい、神様の愛にとどまり続け、多くの実を結ぶことができるように期待していきます。

(ワシントン州カークランド在住。
フェイス・バイブル・チャーチ)

二〇一八年 マウント・ハーモン
修養会日本語部講師 福野正和 師



美しい大自然に囲まれ、主への賛美と楽しい交わりで心が癒され励ましを受けた第六十七回 JEMS マウント・ハーモン修養会の恵みに与り、感謝で一杯です。その祝福の流れがまだ力強く溢れている時に、来年度修養会に再びお招きを受けたくも光栄です。言葉に表せない驚きと、「続けて寄せていただいてもいいのでしょうか？」という戸惑いもあります。正直とても嬉しいです。

マウントハーモンでお会いする兄弟方の笑顔と温かいお交わりは、新たな人生のページをめくる素敵な喜びの季節になります。来年度も、み言葉と聖霊の働きによって、霊的生活と人生観が大きく変えられる修養会になるでしょう。神の御子キリストが、歴史の中に受肉され救い主としておいで下さったように、私たちの信仰も、知識から体験へと受肉するクリスマスチャン生活になることを願っています。「キリストの贖い、内住の御霊、信じる者に働く神の力、御霊による歩みと油そそぎ、霊的戦いの勝利」について、神のみことばからの学びと天的な信仰が豊かに

開かれることを大いに期待しています。神がチャンスを下さる「二〇一八年マウント・ハーモン修養会」にぜひご参加ください。お待ちしております！

【CPIカンファレンス】

十月二十五日から二十七日まで、CPI(チャーチ・プランニング・インスティテュート)全国カンファレンスが日本の埼玉県で開催されました。日本で働く JEMS 宣教師たちも参加しました。アメリカからは、リック中馬総主事とデロー・ウオン宣教師部門マネージャーが参加し、互いの働きについて分かち合い、良き交流の場を持ちました。カンファレンスのメッセージを通して、参加者たちは、大きな励ましを受け、恵み豊かな三日間となりました。



CPI カンファレンスに参加した宣教師たち

【吹上信一師(訃報)】

二〇一七年九月二十四(日)、八六歳で天に召されました。吹上師は、一九三一年、京都に生まれ、一九九五年に関西聖書神学校を卒業後、岡山で五年間牧会をされました。一九六〇年、二九歳で渡米し、シカゴ・レイクサイド教会やミルワーカーの教会などに従事され、一九六九年からの二八年間は北米ホーリネス教団の牧師として仕えられました。メモリアルサービスは十一月四日にカリフォルニア州のウインターズバーク教会で執り行われました。しづ夫人をはじめ、ご家族の上に主からの慰めをお祈りいたします。

【近況報告】

JEMS 日本語部 コーディネーター 藤本三奈子

皆様のお祈りとサポートに支えられ、二〇一七年の JEMS 日本語部の働きに主が豊かな祝福を注いで下さいました。また、情報も多くの方々のご協力を頂いて、年四回発行できましたことを心から感謝しています。集会先などで初めてお目にかかる方から、時報をいつも楽しみに読んでいますと声をかけて頂くこともあり、大きな励ましとなつていきます。来年も時報を通して主の素晴らしいみわざをお証し、大いに用いられることを願っています。引き続き日本語部の働きを覚えてお祈り頂ければ感謝致します。

【編集後記】

紀元前八世紀のミカの預言、「しかしベツレヘムよ、あなたはユダの氏族のうちで小さい者だが、イスラエルを治める者があなたのうちからわたしのために出る(二五章二節)」というみ言葉に、神の預言の力と不思議さに今さらながら心震える思いがします。時を経て、二〇一七年のクリスマス、イスラエルの地に思いを馳せ、その幸いを家族や愛する兄弟姉妹と過ごせることを感謝するばかりです。時報を支えてくださる皆様、ありがとうございます。時報が刻んだ時が、皆様のお祈りの中にも息づいていくことを願っております。



第 69 回 JEMS マウント・ハーモン修養会
2018 年 7 月 1 日(日)ー7 日(土)

日本語部講師：福野正和牧師

関西聖書学院(KBI)卒業。1981年11月、大阪府富田林市で家庭礼拝を始める。1986年11月、南大阪福音教会を教会員39名で設立。2000年、RCI南大阪福音教会に改称。RCI(リバイバルチャーチ・インターナショナル)南大阪福音教会主任牧師。CPM(クリスチャン・パワー・ミニストリーズ)主幹。JEC 理事。関西聖書学院(KBI)教師・理事長。

JEMS ADMINISTRATION Rev. Dr. Richard Chuman - Executive Director & Mission at Large Daichi Tsuruta-Senior Accountant Barrett Louie-Accounting Assistant Darryl Wong-Missions Administrator Mary Tabuchi-Office Administrator JEMS BOARD OF DIRECTORS David Akiyama-President Joel Nagatoshi-Vice President Larry Kuromiya-Treasurer Don Yamagishi-Secretary Ann Kuromiya-Recording Secretary <i>Members at Large:</i> Tony Kim Greg Oda JAPAN MISSIONS Roy Toma Director Amakusa Shinsetsu Ministry Hope for Japan (JEMS)	JAPAN MISSIONARIES Tim & Chie Burns-Nagoya Anne & Riz Crescini-Kitakyushu Ethan & Michele Fisher-Gifu Todd & Jayne Fong-Tokyo, CAJ Gayle Gutierrez-Machida Paul & Yu Kang-Nagoya Revs. Michael & Chris Mason-Osaka David & Yuka Mills-Kanagawa, J-Lodge Paul & Rie Mizuki Mitsuyoshi & Kristin Nakamura-Nagoya Julie Nitao -Rifu,Miyagi Kuni & Kristen Onishi-Kobe David & Tomo Robison-Tohoku Jon & Maki Robison-Tohoku Lily Suzuki-Amakusa John & Kazumi VanFarowe-Tajimi Nozomi & Kevin West-Kobe Fred & Chikako Whitwer-Tohoku Joseph & Yumiko Wu-Kobe Reo Yoshida-Kobe SOUTH AMERICA MISSIONS Rev. John Katagi-Director	JAPAN AFFILIATES Rev. Paul Ariga-All Japan Revival Mission Mark & Jennifer Bello-Suicide Is a Lie, There Is Hope -Tokyo Rev. Megumi Enomoto-Shiga Jordan Foxwell-Ishinomaki Christian Center Nozomi Houlette-Nozomi Project Nao & Barbara Hanada-Director of AiGJ Rev. Timothy Himel-Soden,JEMS Japan Coord. Moto Kimura & Jo Nakamura-OneMusic Rev. Yoshihiro Kishi-Mission 2001, Music Hideo Kobori-Kyoto, Music Rev. Masashi Sugita-Dublin, Ohio Rev. Tadao Ogawa-Social Worker Temote Suzuki-Tohoku DIASPORA MINISTRY Eri Kobayashi (SoCal) Rev. Dennis Peters (NorCal) Akiko Sugimori (SoCal) US AFFILIATES Rev. Chandler Im-Tokyo Waseda Int. Christian School Ray Sidney, Amy Lachica, -Here to Praise Ministries Dr. Martin Yahiro-JUMP-Japan Upward Mission Project Ms. Nana Yamamoto-USA Evangelism	AACF CAMPUS MINISTRIES OF JEMS Jon Liu-AACF Director Chloe Chow-Media Coordinator AACF CAMPUS MINISTERS Chong Ahn, Rev. Melanie Mar Chow, David Fong, Rev. Victor Quon AACF CAMPUS MINISTERS (Volunteers) Betty Chen, Bruce Chow, Ashley Donald, Evelyn Fan Encarnacion, Nathan Fong, Helicon Kuan, Ed Kwong, Adrian Li, Mark Quan Hannah Rosario, Joyce Lam, Jasmine Lee, Kylie Liu, Arnie Ong, Mark Quan, Janet Reksoatmodjo MOUNT HERMON FAMILY CAMP Craig Wakamoto-Director Lisa Nagahori-Registrar MOUNT HERMON YOUTH CAMPS Jr. High Directors-Garron/Cynthia Tsushima Inter High Director-Joel Nagatoshi Sr. High Director-Ken Shida College Director-Ryan Najima Special Camp Directors-Bruce/Valerie Satow	MOUNT HERMON YOUTH CAMPS Lisa Nagahori-Coordinator MUSIC AND MEDIA Lowell E. Sue-Director NICHIGO MINISTRIES Minako Fujimoto-US Coordinator Rev. Dr. Ryohei Kawano - Overseas Church Consultant PACIFIC NORTHWEST (STATE OF WASHINGTON) Rev. Carolyn Y. Shimabukuro - PNW Director & AACF Regional Director SENIORS & MEN 4 MISSIONS Rev. Dr. Sam Tonomura- Director SPORTS AND RECREATION Victor/Linda Louie - Volleyball Ken/Mary Tabuchi - Softball John Lee- Basketball League JEMS JOURNAL Emily Okada-Layout & Graphics Kevline Lithoaranhv -Printino
--	--	--	--	---



EJAPANESE EVANGELICAL MISSIONARY SOCIETY
 948 East Second Street
 Los Angeles, CA 90012
 213'613'0022
 日本語部 Email:minakoF@jems.org

RJC カンファレンス
 ある者が植えて、別な者が水を注ぐ。しかし、神が成長させる。
 (コリント I 3:6)
日時：2018年2月15日(木)ー17日(土)
場所：Calvary Chapel La Habra
 1370 Euclid St., La Habra, CA 90631
講師：サンロレンゾ日本人教会牧師 島田直師
Soma Fuchu 野口義人師
申し込み：WWW.RJCNETWORK.ORG

CPM(Christian Power Ministries)セミナー
日時：2018年2月10日(土)
場所：GVIC
 17811 S. Western Ave. Gardena, CA 90248
講師：RCI 南大阪福音教会牧師 福野正和師
2017年及び2018年JEMSマウント・ハーモン修養会日本語部講師
 主催：CPM ミニストリーズ 共催：JEMS、南加キリスト教教会連合
 問合せ：JEMS 藤本まで
 213-613-0022 minakoF@jems.org

目次

P 1 : クリスマスーキリストの愛の真実	寺嶋伯文師
P 2 : [クリスマス随想] マリアの賛歌	福野梢夫人
P 3 : 宣教ディレクターに就任して	藤間ロイデン
P 4 : 杉田政志ってどんな人？	三宅和美姉
JEMS ウォーム・ビーチ	
JXJ キャンプに参加..	笠井彩子姉
P 5 : 近況報告	藤本三奈子
編集後記	西原黎子